

●ほっと一息、京都であそぼう

おふたいむ

off time

9

2016 No.191

京都の「涼」をたっぷり満喫!

雅なクールスポットで



特集 京都ツウの “涼み”法

じわじわと残暑がにじむ京都。暑さで落ち込みぎみの心と体を清々しい心地にさせてくれる、クールスポットをご紹介します!涼みながらの京都めぐりで、夏の終わりを存分に楽しみましょう。

01 蓮華寺 れんげじ

自然の情緒が涼を織りなす

江戸時代の茶人・文化人たちが足しげく通い、愛されたという上高野の名刹。その造営には、書家や茶人として活躍した石川丈山、絵師・狩野探幽など、江戸初期の名だたる文化人たちが携わったと伝わっている。当時の面影をとどめる池泉の庭は名庭として知られており、書院の東側からは鮮やかな緑と石組、石灯笼の美しい庭が眺められる。創建当時の姿を残す山門も必見だ。

☎075-781-3494 ☎9時～17時
🎫400円 🕒8/24午前
🚏国際会館駅前から市バス5・31・65
🚶花園橋下車、徒歩約13分



池に浮かぶ「入船の船石」は蓮華寺でのみ見られる

ここがおススメ

青もみじや苔が美しい池泉の庭。豊かな緑と池の調和する風景に、心が静まります。
(おふたいむ編集者 H)

京都の豆知識

「暮らしの知恵・打ち水」

夕暮れ時、石畳を濡らす打ち水。水が蒸発する際の気化熱で地面の温度を下げるという暑さ対策だ。実はこの打ち水、元々は門掃きの後に水をまいて土埃を鎮め、客人を気持ちよくもてなすために行われていたものだったという。先人たちのおもてなしの心が、暑さをしのぐ現在の風習につながったのである。

